

広島県の農林水産業の概要

特徴・取組

広島県は、北部は中国山地の南側に位置し、瀬戸内海に面する南部は小規模の平地が広がるほか、数多くの島々を擁し、県内のほとんどが中山間地域となっている。また、南部は広島市、福山市を中心に大消費地を形成している。

北部は積雪寒冷地域であるが、南部は温暖で年間を通じて晴天が多く、降水量は年間1,500mm以下と少なく、平均気温は16℃前後である。

広島県の産業構造をみると、「ものづくり」を軸として、造船・鉄鋼・自動車などの重工業から電気機械・電子部品などの先端産業まで、バランスのとれた層の厚い産業群を形成している。

また、2つの世界文化遺産（原爆ドーム、厳島神社）等の豊富な観光資源により国内外から多くの観光客が訪れ、観光が成長を支える産業の一つとなっている。

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然状況を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開している。

水産業は、漁業産出額の約7割をかき（養殖）が占めている。また、小型漁船による釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行われている。

『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』を基本理念とする2025広島県農林水産業アクションプログラムを策定。

今後、広島県では人口減少や少子・高齢化が進むことが予測され、特に中山間地域においては、より厳しい環境変化が見込まれることから、中山間地域の基幹産業である農林水産業においては、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していくことが重要であり、あわせて集落や里山里海などを含めた環境が維持されていくことを想定している。

主な農林水産物

レモン

島しょ部を中心に栽培され、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国1位）



かき類（養殖）

かきの養殖に最適な環境に恵まれ、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国1位）



わけぎ

備後（びんご）南地域で古くから栽培されており、全国の収穫量の過半数を占める。

（収穫量全国1位）



イチジク

主に備後南地域で栽培され、数少ない日本いちじく（蓬莱柿：ほうらいし）の産地を形成。

（収穫量全国6位）



水稻

多くの品種が栽培され8～10月まで刈取りが続く。ほとんどが県内で消費される。

（収穫量全国25位）



かんきつ類 （レモン以外）

島しょ部を中心に傾斜地を利用して、温州みかん、ハッサク、シラヌヒ、ネーブルオレンジ等が生産されている。

（収穫量全国順位）

ネーブルオレンジ：1位
ハッサク：2位
シラヌヒ：5位
ナツミカン：7位
イヨカン：7位
みかん：9位



くわい

福山市で栽培され、全国の収穫量の過半数を占める。

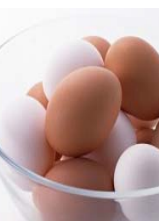
（収穫量全国1位）



鶏卵

飼料を工夫した卵や生産履歴が追跡できる卵などが、主に備後北地域で生産されている。

（生産量全国6位）



ばれいしょ

安芸、備後南地域の沿岸部の赤土地帯で栽培され、「まる赤ばれいしょ」として知られている。

（収穫量全国16位）



広島県内の各地域における農林水産物

全県域

【農産物】アスパラガス

【林産物】あかまつ、広葉樹

安芸地域

【農産物】ぱれいしょ、ほうれんそう、トマト、レモン、ネーブルオレンジ、ハッサク、シラヌヒ（デコポン）、ナツミカン、イヨカン、みかん

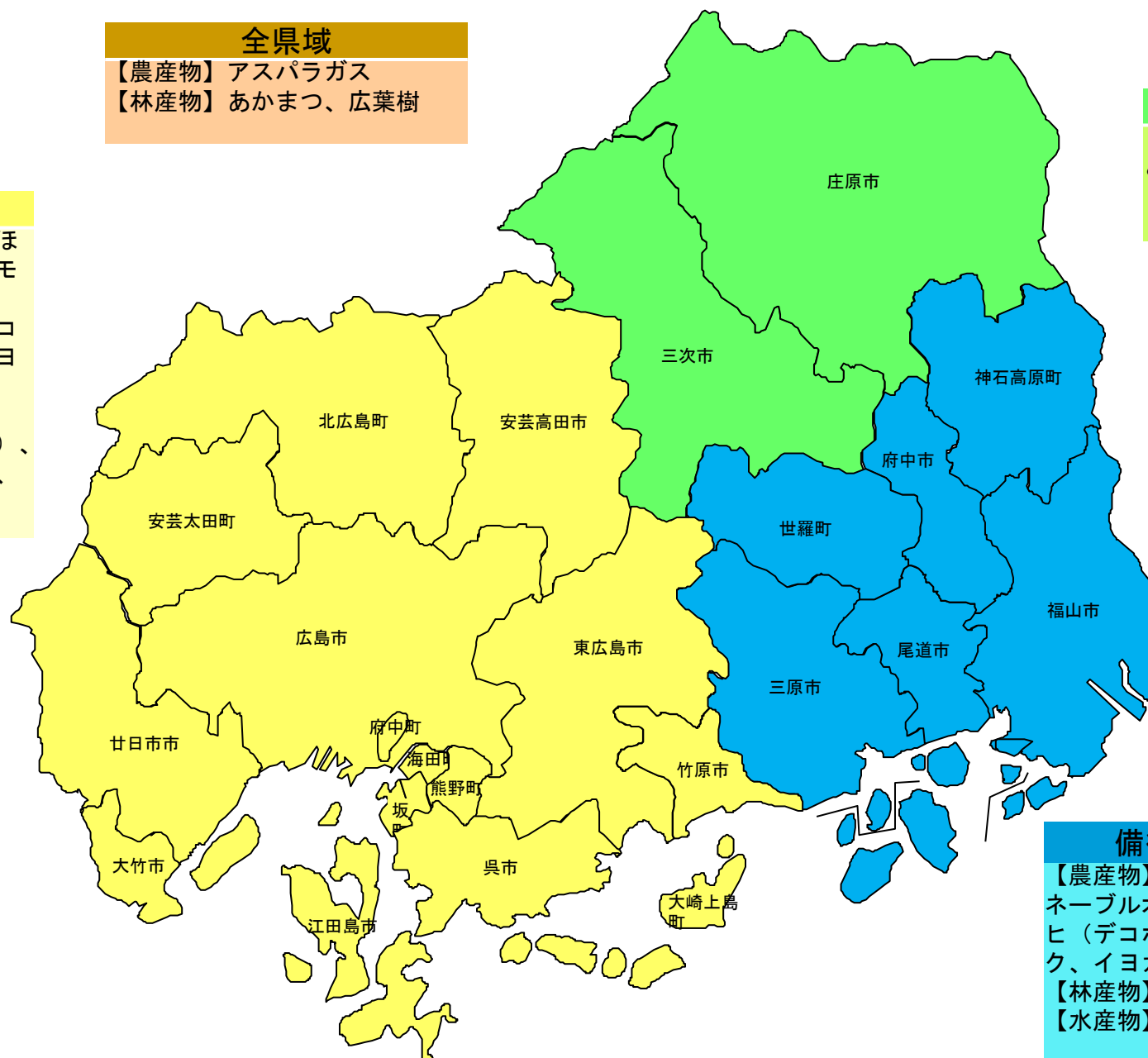
【林産物】ひのき

【水産物】かき類（養殖）、かたくちいわし、しらす、たちうお

備後（びんご）北地域

【農畜産物】水稻、ねぎ、ぶどう、鶏卵、肉用牛

【林産物】ひのき



備後（びんご）南地域

【農産物】くわい、わけぎ、レモン、ネーブルオレンジ、ハッサク、シラヌヒ（デコポン）、ナツミカン、イチジク、イヨカン、みかん、ぶどう

【林産物】エリンギ、ぶなしめじ

【水産物】たちうお、ガザミ

広島県の農業（１）

- ・耕地面積は5万900haで全国27位。うち田が3万8,500ha、畑が1万2,400ha。
- ・農業経営体数は2万2,290経営体で全国21位。うち法人経営体が697経営体で16位。
- ・認定農業者数は1,355経営体で全国41位。うち法人数が506法人で25位。

耕地面積

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
耕地面積	50,900 ha	4,297,000 ha	27
田	38,500 ha	2,335,000 ha	24
畑	12,400 ha	1,962,000 ha	31
普通畑	6,850 ha	1,120,000 ha	29
樹園地	4,900 ha	253,500 ha	15
牧草地	622 ha	589,000 ha	21
参考）総土地面積	847,894 ha	37,797,539 ha	11

出典：「令和5年耕地面積（7月15日現在）」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	7,489 ha	253,217 ha	14

出典：「令和4年度の荒廃農地面積（令和5年3月31日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	13,593 ha	2,573,672 ha	34
集積率	26.2 %	59.5 %	40

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和4年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

- ・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
- ・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「－」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「×」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
農業経営体数	22,290 経営体	1,075,705 経営体	21
法人経営体	697 経営体	30,707 経営体	16
総農家数	45,335 戸	1,747,079 戸	16
販売農家	20,861 戸	1,027,892 戸	21
参考）世帯総数	1,243,527 世帯	55,830,154 世帯	11
集落営農数	620 集落営農	14,204 集落営農	7

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和5年集落営農実態調査結果（令和5年2月1日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	24,534 人	1,363,038 人	26
男	14,795 人	822,144 人	25
女	9,739 人	540,894 人	26
65歳以上	20,481 人	948,621 人	22
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	83.5 %	69.6 %	－
認定農業者数	1,355 経営体	219,846 経営体	41
法人数	506 法人	28,720 法人	25
参考）総人口数	2,799,702 人	126,146,099 人	12

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和5年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

広島県の農業（ 2 ）

- ・農業産出額は1,289億円で全国25位。うち米が229億円（17.8%）、野菜が271億円（21.0%）、畜産が582億円（45.2%）。
- ・農畜産物の生産状況は、ネーブルオレンジ、レモン、くわい、わけぎが全国1位、八朔が2位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が125億円で全国25位、事業体数は430事業体で31位。

農業産出額

区 分	広島県	全国	全国順位
農業産出額	1,289 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	25
米	229 億円 (17.8)	13,946 億円 (15.5)	25
麦類	x 億円	647 億円	- *
雑穀	0 億円	83 億円	20
豆類	1 億円	715 億円	36
いも類	10 億円	2,199 億円	20
野菜	271 億円 (21.0)	22,298 億円 (24.8)	28
果実	165 億円 (12.8)	9,232 億円 (10.3)	14
花き	25 億円	3,493 億円	39
工芸農作物	1 億円	1,551 億円	39
その他作物	x 億円	607 億円	- *
畜産	582 億円 (45.2)	34,678 億円 (38.5)	16
肉用牛	83 億円	8,257 億円	25
乳用牛	65 億円	9,013 億円	24
生乳	59 億円	7,916 億円	24
豚	120 億円	6,713 億円	19
鶏	313 億円	9,716 億円	10
鶏卵	284 億円	5,638 億円	5
ブロイラー	19 億円	3,940 億円	26 *
その他畜産物	0 億円	979 億円	39
加工農産物	0 億円	565 億円	38

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	広 島 県	全 国	全国順位
ばれいしょ	収穫量	R4	6,860 t	2,283,000 t	16
みかん	収穫量	R5	15,600 t	681,600 t	10
鶏卵	生産量	R5	116,953 t	2,437,773 t	6
シラヌヒ	収穫量	R3	2,534 t	36,596 t	5
ネーブルオレンジ	収穫量	R3	1,723 t	3,315 t	1
八朔	収穫量	R3	4,375 t	24,485 t	2
レモン	収穫量	R3	4,401 t	8,660 t	1
イチジク	収穫量	R3	439 t	10,143 t	6
くわい	収穫量	R2	111 t	202 t	1
わけぎ	収穫量	R2	346 t	698 t	1

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産物流通統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	広島県	全国	全国順位
農産加工	総額 12,486 百万円 事業体数 430 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	25 31
農産物直売所	総額 15,509 百万円 事業体数 440 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	33 23
観光農園	総額 936 百万円 経営体数 70 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	14 19
農家民宿	総額 44 百万円 経営体数 30 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	23 * 9 *
農家レストラン	総額 322 百万円 事業体数 20 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	36 * 18 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

広 島 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は85.1億円で全国23位。うち木材生産が44.6億円、栽培きのこ類生産が39.5億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国22位、竹酢液が全国4位、竹炭が7位、あかまつ・くろまつが8位。

林業産出額

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
林業産出額	85.1 億円	5,806.6 億円	23
木材生産	44.6 億円	3,604.6 億円	21 *
栽培きのこ類生産	39.5 億円	2,079.5 億円	14

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
素材生産量	331 千m ³	22,082 千m ³	22 *
針葉樹	235 千m ³	20,386 千m ³	24
あかまつ・くろまつ	11 千m ³	559 千m ³	8 *
ひのき	102 千m ³	2,971 千m ³	11
広葉樹	96 千m ³	1,696 千m ³	4 *
生しいたけ	生産量 735 t	69,532 t	26
なめこ	生産量 14 t	23,738 t	20 *
竹酢液	生産量 1,930 l	189,606 l	4 *
竹炭	生産量 4 t	426 t	7 *

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
林野面積	618,092 ha	24,770,201 ha	10
国有林	47,322 ha	7,153,338 ha	20
民有林	570,770 ha	17,616,863 ha	6
人工林面積	200,885 ha	10,133,111 ha	20

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
工場数	62 工場	3,804 工場	32
製材用素材の入荷があった工場数	61 工場	3,778 工場	32
国産材のみ	32 工場	3,054 工場	37
国産材と輸入材	20 工場	560 工場	11

出典：「令和4年木材需給報告書」

林業経営体数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,453 経営体	34,001 経営体	5
法人経営体	123 経営体	4,093 経営体	7

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

広島県の漁業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は260億円で全国17位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のかたくちいわし、くろだいが全国4位、海面養殖業のかき類が1位。
- ・漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が23億円で全国4位、事業体数は80事業体で2位。

漁業産出額

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	260 億円	14,372 億円	17

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,162 経営体	79,067 経営体	15
内水面漁業経営体数	53 経営体	4,772 経営体	25

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁業就業者数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	3,327 人	151,701 人	19
男	2,760 人	134,186 人	20
女	567 人	17,515 人	12

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁船隻数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
漁船隻数	3,314 隻	132,201 隻	14
動力漁船	2,471 隻	69,920 隻	11

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	116,234 t	3,862,831 t	7 *
海面漁業漁獲量	16,890 t	2,950,992 t	28
かたくちいわし	11,668 t	123,241 t	4 *
くろだい	150 t	2,212 t	4
海面養殖業収穫量	99,344 t	911,839 t	2 *
かき類	96,816 t	165,590 t	1 *
まだい	109 t	68,088 t	14 *
内水面漁業・養殖業生産量	81 t	54,115 t	35 *
内水面漁業漁獲量	21 t	22,612 t	28
あゆ	18 t	1,776 t	15
内水面養殖業収穫量	60 t	31,503 t	29 *
うなぎ	6 t	19,167 t	11 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	広 島 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 8,219 百万円 事業体数 50 事業体	181,820 百万円 1,460 事業体	6 * 7 *
水産物直売所	総額 2,294 百万円 事業体数 80 事業体	37,410 百万円 840 事業体	4 * 2 *
漁家民宿	総額 14 百万円 経営体数 10 経営体	5,986 百万円 740 経営体	32 * 15 *
漁家レストラン	総額 231 百万円 事業体数 10 事業体	11,598 百万円 420 事業体	14 * 9 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

広島県の農林水産業の話題等（１）

2025広島県農林水産業アクションプログラム策定（令和３年３月） 基本理念『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』

広島県では、平成30年３月に策定した「農林水産業アクションプログラム 第Ⅱ期」の計画期間が令和２年度で終了し、この間の成果と課題を検証するとともに、人口減少、少子・高齢化による生産構造の弱体化やスマート農林水産業などデジタル技術・先端技術の進展、大規模災害発生リスクの高まりなどの社会情勢の変化及び県の農林水産業を取り巻く環境の変化等を踏まえ、令和３年３月、農林水産業施策の実行計画である「2025広島県農林水産業アクションプログラム」を策定した。

本プログラムは、令和２年10月に策定された県の総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」における農林水産業等の分野別計画として策定したもので、「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を基本理念とし、持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえつつ、分野ごとの10年後の目指す姿を明確にし、その実現のために5年後の「目指す姿」と、「目指す姿」を実現するために設ける「施策の柱」ごとに今後5年間、県が主体となって重点的に取り組む内容と達成すべき目標（指標）を定め、推進していくこととしている。

農業における5年後の「目指す姿」と「施策の柱」

スマート農業を導入することで生産性を向上させ、地域資源や雇用労働力を有効に活用しながら規模拡大に取り組むなど、持続可能な企業経営にチャレンジする担い手が増加している。

企業経営体等の法人がリーダーとなり、地域資源を生かして付加価値の向上等に取り組むことで地域農業の魅力が高まり、また、兼業農家などの多様な主体と連携しながら継続して生産・保全活動に取り組む事例が広がりつつある。

施策の柱

- I 地域の核となる企業経営体の育成
- II スマート農業の実装等による生産性の向上
- III 新規就業者等の新たな担い手の確保・育成
- IV 担い手への農地集積と基盤整備
- V 中山間地域農業の活性化



機械によるキャベツ収穫
（スマート農業実証プロジェクト）

広島県の農林水産業の話題等（２）

畜産業における５年後の「目指す姿」と「施策の柱」

比婆牛の価値要素がさらに高まり、著名料理人の高い評価を活かすことで県内高級飲食店の取扱いが拡大し、県内の料理人にブランド和牛として認知されている。

肥育経営体の繁殖部門の導入や受精卵産子の安定供給、後継者不在の経営体の経営継承など、広島和牛の生産性を高める体制の構築を図るとともに、スマート農業や畜産GAP等のモデル波及に取り組むことで、持続性の高い経営体の育成が進んでいる。

施策の柱

- I 持続可能な広島和牛生産体制の構築



広島和牛の放牧
(現代和牛のルーツの一つ)

林業における５年後の「目指す姿」と「施策の柱」

年間40万 m^3 の県産材を持続的に生産するため、林業経営適地の集約化や担い手等の生産基盤の整備、森林に関する情報を関係者が共有して利活用するデジタル情報基盤の整備及び再造林を確実に実施するための技術基盤の整備が確立されつつある。

県産材が、生産から流通、加工、利用まで効率的に流れ、木造住宅に加え、住宅以外の建築物の県産材による木造化や木質化が進むとともに、付加価値の高い県産材製品等が市場へ浸透するなど、新たな需要が確保されつつある。

施策の柱

- I 森林資源経営サイクルの構築
- II 森林資源利用フローの推進

水産業における５年後の「目指す姿」と「施策の柱」

かき養殖においては、採苗シミュレーションシステムの活用等により生産が安定するとともに、水産エコラベル認証等の国際認証の取得が進み、海外輸出が促進されている。

海面漁業においては、資源管理や漁場整備等の資源回復に向けた取組が進むとともに、デジタル技術を活用した漁獲技術の導入・検証や担い手による組織的な出荷・販売体制の整備が進んでいる。また、瀬戸内の地魚のイメージが県民や観光客に浸透し始めている。

施策の柱

- I 海外展開を見据えたかき生産出荷体制の構築
- II 瀬戸内の地魚の安定供給体制の構築



瀬戸内の真鯛とアコウ（キジハタ）